

社会政策学会 Newsletter

◇学会本部 埼玉大学 経済学部 禹宗杭研究室
URL : <http://jasps.org> TEL : 048-858-3327 E-mail : woojw@mail.saitama-u.ac.jp
◇編集・発行 禹宗杭 (代表幹事) 首藤若菜・禿あや美 (Newsletter 担当幹事) 熊沢透 (事務局長)
◇事務センター 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2丁目 39-2 大住ビル 401
(株)ガリレオ 学会業務情報化センター内 社会政策学会事務センター
TEL : 03-5981-9824 FAX : 03-5981-9852 E-mail : g048jasps-support@ml.gakkai.ne.jp

【目次】

1. 【編集委員会からの重要なお知らせ】
学会誌投稿原稿等提出、投稿原稿の査読プロセスの
オンライン化について
2. 研究者育成フォーラム報告
3. 専門部会 2021 年度活動報告
4. 幹事会報告
5. 承認された新入会員

1. 【編集委員会からの重要なお知らせ】

学会誌投稿原稿等提出、 投稿原稿の査読プロセス のオンライン化について

現在、学会誌編集委員会では、投稿原稿等の提出、投稿原稿の査読プロセスについて、学会事務の一部を委託しておりますガリレオ(株)のシステムを使い、オンライン化することを予定しております。正確な日程は後日ご

2. 研究者育成フォーラム報告

研究者育成フォーラムは今期幹事会の重点事業の一つとして、2020年7月に立ち上げられました。米澤 且 (明治学院大学)、北井万裕子 (松山大学)、松永伸太郎 (長野大学)、朱 珉 (千葉商科大学)、原田玄機 (高崎経済大学)、近間由幸 (鹿児島県立大学)、小尾晴美 (中央大学) を世話人として、運営されています。2020年10月から2022年7月までの期間で、8回の定例研究会、

連絡差し上げますが、投稿原稿の **2023年1月締め切りより運用予定**です。関連して、学会誌の編集、投稿に関する規程を見直す作業も進めています。規程については、秋季大会時の臨時総会にてご審議をお願いする予定です。大幅な変更が見込まれますので、学会からのメール、ニューズレター等を注視していただけますようお願い申し上げます。

オンライン化により、投稿者・査読者をはじめとする学会員のみなさまの利便性は格段に向上すると考えています。と同時に、大学の業務遂行環境が厳しくなるなかで、編集委員会業務は多忙を極め、率直に申し上げて、個々の編集委員にかかる負担は重くなっております。オンライン化により編集委員会の業務が軽減され、安定した運営につながると期待しております。規程等の見直しは、そのような観点からも行う予定にしております。学会員のみなさまにおかれましては、編集委員会の窮状もおくみ取りいただき、ご検討、ご確認いただけますようお願い申し上げます。(学会誌編集委員長 岩永理恵)

2回の茶話会を開催しました。各回、10~15人の参加があり、学位論文につながる研究報告や、研究の進め方などの意見交換の場となっています。2022年度中に、あと2回程度の研究会を開催する予定です。どなたでもご参加できますので、関心のある方はぜひご参加ください。

研究会の情報等は、Facebookの公開グループページ (<https://www.facebook.com/groups/204011747278>)

9142) で案内しています。現在のところ、登録者は128名です。公開グループページでは定期的に学会関連情報の告知もしているので、お気軽にご登録ください。また、グループページ、研究会とも非会員でも参加できる形にしておりますので、学会員ではない方でも、社会政策研究に関心のある方にお声がけください。ご助言やご意見、何かお気づきの等があれば、世話人までお知らせください。

2021～22年度の研究会等の実施状況

(すべて Zoom オンライン)

第4回：2021年6月13日13:00～

話題提供：西村 健(松山大学、労働経済学・医療政策)、米澤 且(明治学院大学、福祉社会学・非営利組織論)

第5回：2021年9月14日13:00～

報告者：高橋麻美氏(お茶の水女子大学大学院博士

課程)

報告タイトル：「政策分析における「交差性」概念の有効性と課題——脆弱な主体の観点から」

第6回：2022年2月1日13:00～

話題提供：PDについて：原田玄機氏(学術振興会PD)、DCについて：北井万裕子氏(松山大学)

第7回：2022年3月30日13:00～

報告者：仲地二葉氏(中央大学大学院博士後期課程)
報告タイトル：「コンビニ店舗における売り場づくりと発注業務」

第8回：2022年7月24日10:00～

話題提供：岩永理恵氏(日本女子大学)「資料・史料の探し方に関する話題提供」、金子良事氏(阪南大学)「労働史研究、事始め」

テーマ：「歴史研究ワークショップ」(資料の探し方・読み解き方) (小尾晴美)

3. 専門部会 2021年度活動報告

社会的排除／包摂部会は、2021年度は活動を行うことができなかった。理由の一つは、新型コロナウイルス感染拡大にともなって部会員の意思疎通が十分に行え

なかったことによる。もう一つは、部会世話人が病気療養を必要としたことによる。2022年度は、新たな組織体制の構築、研究交流と学会分科会企画などについて、意見交換を図ろうとしているところである。(福原宏幸)

4. 幹事会報告

(すべて Zoom オンライン)

第2回次期幹事会準備会

2022年4月23日

議事録

第1部 10:00～10:10

出席：禹 宗杭、阿部 彩、石井まこと、伊藤大一、岩永理恵、垣田裕介、金井 郁、上村泰裕、金 成垣、菅沼 隆、首藤若菜、田中聡子、所 道彦、藤原千沙、水野有香、森 詩恵、森 周子、熊沢透(記) 18名

欠席：金子良事、松本伊智朗 2名

・推薦幹事の決定

選出幹事より下記の会員が推薦幹事として推挙され、確認された。

小尾晴美、禿あや美、白瀬由美香、田中弘美、引馬知子、柘田大知彦、百瀬 優、山村りつ(あいうえお順)

第2部 10:10～12:00

出席：禹宗杭、阿部 彩、石井まこと、伊藤大一、岩永理恵、小尾晴美、垣田裕介、金井 郁、上村泰裕、禿あや美、金 成垣、白瀬由美香、菅沼 隆、首藤若菜、田中聡子、田中弘美、所 道彦、引馬知子、藤原千沙、柘田大知彦、水野有香、百瀬 優、森 詩恵、森 周子、山村りつ、熊沢透(記) 26名

欠席：金子良事、松本伊智朗 2名

(1) 学術賞選考委員会について

・人選未定。方針としてはこの委員会「荷が重い」ので、ベテランに依頼する。

(2) 役割分担の確認。学会ホームページに掲載の通り。

社会政策学会ホーム>学会概要>組織・役員

https://jasps.org/outline_organization.html

(3) 各委員会新委員長から

- ・編集委員会：岩永さん 人選と依頼に苦勞。推薦を募りたい。増やしたい。
- ・春季大会企画委員会：伊藤さん 専門部会からの補充を待つ。問題なし。
- ・秋季大会企画委員会：山村さん 後任はほぼ決まっている。大丈夫。北海道が未定。
- ・国際交流委員会：金さん 韓国、中国、米国、ヨーロッパの各「地域担当」を意識。アメリカ担当に今井順さんを検討（三選禁止規定はあるので注意）。東南アジアについて重点化したい。／この委員会だけ「三選禁止」があるのはなぜか？—特定の人に負担が集中しがちなので、その軽減のためだったと記憶している。今は人材が増えてきたのでこの規定は廃止してよい時期。国際交流委員会規程の改正を検討する。
- ・国際交流委員会の活動方針が、次回幹事会に報告されることとなった。
- ・研究者研究者育成フォーラム：小尾さん 人数は変わらず。朱 珉さんを検討。

(4) 2022～2024年幹事会の取り組み（案）について

- ・第144回大会総会にむけた文案を検討。
- ・「若手」について、加入促進という方針の具体化。
- ・各活動について、なにかあれば代表幹事と事務局長に遠慮なくご相談を。

(5) 社会政策学会2022年度活動方針（案）について

- ・第144回大会総会にむけた文案を検討。
- ・代表幹事方針：これを確認了解。
各取り組みについて、幹事会で状況を共有したうえで
 - 1) 案を作る段階で関係者と意見交換をする。
 - 2) 案が定まった段階で学会全体にアナウンス、意見聴取をする。
 - 3) 規程改正が必要な案件でなくても、検討結果と方針は基本的に総会に諮る。
- ・社会政策学会2022年度活動方針（案）

コロナ禍の経験を活かしながら、対面の大会開催の可能性を追求するとともに、学会活動のさらなる活性化をはかる。具体的には、①若手への支援、②大会の持続可能な開催・運営、③専門部会の活性化、④地方部会の活性化、⑤学会誌の刊行形態の最適化それぞれについて、方向性を検討し、実行可能な事項から実施していく。

(6) 次回について

2022年度の幹事会第1回は、第144回大会時、5月15日（日）11:30～、オンライン。

(7) その他

- ・事務委託のガリレオ移行について
- ・予算案は現幹事会が作っているけれど、活動方針案との齟齬はどうするのか。新しい方針もある。「重点事業」の予算50万を残して、それを新方針に充てるのはどうか。
- ・重点事業と併せて現幹事会で調整する。2022年度予算案には「重点事業」を「学会活性化経費」と組み替えて提案、説明。144回大会の総会での2022年度予算案の説明は熊沢が。
- ・「準備会」は今回で終わり。

第1回幹事会

2022年5月15日11:30～

出席：禹 宗杭、阿部 彩、石井まこと、伊藤大一、岩永理恵、垣田裕介、金子良事、上村泰裕、禿あや美、金 成垣、菅沼 隆、首藤若菜、白瀬由美香、田中弘美、所 道彦、引馬知子、藤原千沙、栢田大知彦、水野有香、百瀬 優、森 周子、山村りつ、熊沢 透（記） 23名

欠席：小尾晴美、金井 郁、田中聡子、松本伊智朗、森 詩恵 5名

議題

- (1) 各種委員会引継状況の報告と各委員会委員の承認
- ・編集委員会（委員会、査読専門委員）、春季大会企画委員会、秋季大会企画委員会、国際交流委員会、広

報委員会の各委員会から委員会構成(名簿)案と引継予定の説明があり、承認された。各委員会名簿は学会 HP に掲載する。

各委員会名簿 社会政策学会ホーム>学会概要>組織・役員

https://jasps.org/outline_organization.html

補足的な確認

- ・編集委員の学会誌投稿について(もともと妨げはないが、あらためて保証されることを確認)
- ・査読専門委員の任期
- ・春季と秋季の企画委員会、それぞれ1名補充の可能性
- ・国際交流委員会に「東南アジア担当」を新設
- ・広報委員会は今後の多忙化を見込んで1名補充の可能性

(2) その他、委員会の運営方針について

- ・研究者育成フォーラム

事務局担当者の雇用の費用を經常予算「学会活性化経費」から支出することを確認。同コーディネーターの名簿は追って確認のうえ、学会 HP に掲載する。半数ずつの交代とする。金子さんは「広報委員会」からのオブザーバー参加。この「広報委員会からのオブザーバー参加」は恒常化するか——向後2年については続ける。その後は状況を見て決める。

- ・編集委員会について

「2年任期」という規程はどのくらい厳密に運用されているのか。補充や交代の柔軟性はどの程度ありうるのか。——規程に従い20人を上限に、任期途中での委員の補充は可能であり、途中での交代補充の場合の任期は残任期間とするということを確認。

- ・国際交流委員会

大会におけるハイブリッドのセッションを設定することについて、サポートを受けることは可能か——145回大会での企画に向けて、検討する。

- ・入会申請書の「自署」「署名」はなにかと苦勞の元。今後は簡素化する方向で検討する。

(3) 次回幹事会日程

2022年7月1日(金) 18:00~20:00 あるいは7月2日(土) 10:00~12:00 で。後日日程調整することとする。

第2回幹事会

2022年7月16日 17:30~

出席：禹 宗杵、阿部 彩、石井まこと、伊藤大一、岩永理恵、小尾晴美、垣田裕介、金井 郁、上村泰裕、禿あや美、金 成垣、白瀬由美香、菅沼 隆、首藤若菜、所 道彦、引馬知子、藤原千沙、栢田大知彦、水野有香、百瀬 優、森 周子、山村りつ、熊沢 透(記) 23名

欠席：金子良事、田中聡子、田中弘美、松本伊智朗、森 詩恵 5名

議題

(1) 事務局報告・審議

- ・新入会員の承認、退会者の確認

新しい入会申込を承認。承認された新会員は以下の通り(別掲)。

2022年度末での退会者を確認した。上田 修さん、大塩まゆみさん、栗田 健さん、清山卓郎さん、内藤三義さん、永野 仁さん、長峰登記夫さん、藤田栄史さん、堀 龍二さん、森田明美さん、山本 潔さん、番匠谷光晴さん、趙 顯英さん、佐々木寛明さん 計14名。このうち、森田明美さんについては事務手続きの都合で2021年度末での退会として処理する。

- ・岩田正美顧問の任期終了について

確認。代表幹事よりご本人に伝えることとした。

- ・入会申込書の書式における「自署」「推薦人署名」「性別」について

「自署」「推薦人署名」は肉筆であることに拘らない運用とする。「性別」については「男・女・その他」の3つの選択肢にする。メール添付での申込書提出を認める。HPの案内をあらためる。フォーム化への対応を進める事を確認した。

- ・会費減免における「大学院生」の扱いについて

次回臨時総会で、規程の字句修正をする。「常勤職」についているかどうかによって判断することが紛れなく

解る規程にする。なお、所得水準を考慮した本質的な検討を今後の課題とする。

(2) 各種委員会報告・審議

・学会誌編集委員会

報告了承。オンライン査読の導入への検討と、関係業務委託先との折衝の方針を確認した。

・秋季大会企画委員会（「託児費用助成の具体的方法」を含む）

第145回大会のテーマ別分科会と自由論題の報告申請を採択した。

報告了承。大会当日にコロナ関連の理由で欠席する者への対応を了承した。「託児補助金制度」の第145回以降の大会における運用再開方針について意見交換し、申請の簡素化などについて確認した。

開催校（開催地）における託児サービス提供の手配は今後ともしない。

・春季大会企画委員会

共通論題趣旨、登壇者案を了承した。

・国際交流委員会

第145回大会に、日本・東アジア専門部会との共催でテーマ別分科会を設定。

在外の報告者について録画した動画を流す可能性がある旨、了承した。

・広報委員会

必要がある場合は委員を増員する可能性があることを了承した。

・社会政策関連学会協議会

報告了承。

(3) 各担当報告・審議

・専門部会活性化担当

検討進捗報告了承。活性化案について、承認。大会前の幹事会でさらに具体化、臨時総会で説明する方針を確認した。

専門部会の周知、専門部会への「入り方」について意見交換した。

・地方部会活性化担当

検討進捗報告了承。活性化案について、承認。

・若手研究者支援担当

検討進捗報告了承。若手研究者優秀賞審査員の選定について意見交換した。審査日程がタイトであるという事情もあり、できるだけ幹事会メンバーが協力するという方針を確認した。

・大会調整担当

検討進捗報告了承。方針に関して幹事アンケートをおこなうこととした。

・学会誌刊行形態最適化担当

検討進捗報告了承。オープンアクセス化について、紙媒体との共存について意見交換した。

(4) 次期幹事会の日程

第145回大会時（10月7日（金））に先立って9月中に一回幹事会を開催する、日程は追って調整することとした。

・その他

2023年度春季大会（第146回大会、立教大学）は2023年6月3日・4日（土・日）に開催する予定であることが、菅沼幹事より案内された。

5. 承認された新入会員

氏名	所属	専門
板倉享平	立命館大学大学院社会学研究科博士後期課程院生	その他
熊谷百合子	NHK放送文化研究所研究員	ジェンダー・女性
寺田 晋	長崎大学多文化社会学部助教	その他
石川 治	東京工業大学環境・社会理工学院人間科学コース学生	社会保障・社会福祉
河村有介	神戸大学大学院国際協力研究科助教	社会保障・社会福祉
肖 荣荣	龍谷大学大学院社会学研究科学生	社会保障・社会福祉
三吉 勉	同志社大学社会学部助教	労使関係・労働経済